

【3】全日本バレーボール高等学校選手権大会一次予選

1. 期 日 9月22日(祝)・9月23日(祝)・10月25日(日)
2. 会 場 組み合わせに掲載する。
3. 資 格 本年度のJVA登録規定により登録された都内高等学校男子生徒で組織されたチーム。
4. 規 則 本年度の日本バレーボール協会制定ルールを適用する。
5. 参 加 費 8,000円(大会初日の会場にて支払うこと)
※2日目(9月23日)に出場するチームは別に4,000円の参加費を徴収する。
3日目(10月25日)から出場するチームは別に4,000円の参加費を徴収する。
6. 申込期間 6月24日(水)9時～6月30日(火)18時
7. 申込方法 日本バレーボール協会登録管理システム(JVAMRS)にて申込みをする。
8. 抽 選 会 7月4日(土) 全国総合体育大会東京都予選会の上位16チーム代表者による抽選。
場所・時間は各チームに連絡する。
9. 組み合わせ ホームページに掲載する。7月18日(土)16時～18時アップ予定。
10. 備 考 上位4チームが決定した時点で大会を終了する。上位4チームは11月8日(日)に行われる全日本バレーボール高等学校選手権大会東京都代表決定戦に出場する。
この大会全試合において給水のためのテクニカルタイムアウトを適用する。

「給水のためのテクニカルタイムアウト」について

暑い時期に行われる大会において、熱中症予防の観点から下記の要領で「給水のためのテクニカルタイムアウト(以下、給水タイム)」を導入する。

1. 各セットにおいて、リードするチームの得点が13点に達したとき(さらにデュースとなった場合は、得点が30対30になったとき)、30秒間の給水タイムが適用される。
第3セットにおいては、13点でコートチェンジをした後に給水タイムとなる。
2. 給水タイムは正規の中断(タイムアウト、選手交代)の要求やリベロの交替よりも優先される。
3. 給水タイムは給水及び汗拭きを目的としているので、給水タイム中は次の点に注意すること。

プレーヤー ウォームアップエリアにおいて給水することが出来る。モップをかけるためにコートへ入ることは許可されるが、それ以外はウォームアップエリア付近にいることとする。

チームスタッフ ベンチに着席すること。プレーヤーに対して戦術的な指示を出すことは出来ない。
ただし、マネージャーが生徒の場合は給水などの補助のため、ウォームアップエリアに行くことは認められる。